

2024年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年3月12日

上場会社名 株式会社あさくま 上場取引所 東
 コード番号 7678 URL https://www.asakuma.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)廣田 陽一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)西尾 すみ子 (TEL)052(800)7781
 定時株主総会開催予定日 2024年4月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年4月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期の連結業績(2023年4月1日~2024年1月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|----------|------|-------------|---|----------|-------|-----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年1月期 | 6,101 | — | 174 | — | 184 | — | 130 | — |
| 2023年3月期 | 6,202 | 18.2 | 71 | — | 45 | △89.9 | △12 | — |
| (注) 包括利益 | 2024年1月期 | | 130百万円 (—%) | | 2023年3月期 | | △12百万円 (—%) | |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年1月期 | 24.56 | 24.55 | 5.4 | 5.2 | 2.9 |
| 2023年3月期 | △2.29 | — | △0.5 | 1.3 | 1.2 |

(参考) 持分法投資損益

2024年1月期

—百万円

2023年3月期

—百万円

(注) 当社は、2023年6月29日に開催された第50期定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、2024年1月期より決算日を3月31日から1月31日に変更いたしました。これに伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度は、2023年4月1日から2024年1月31日までの10ヶ月間となります。このため対前期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年1月期 | 3,746 | 2,502 | 66.8 | 471.03 |
| 2023年3月期 | 3,307 | 2,372 | 71.7 | 446.47 |

(参考) 自己資本

2024年1月期

2,502百万円

2023年3月期

2,372百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年1月期 | 518 | △190 | △10 | 2,050 |
| 2023年3月期 | 307 | △140 | △430 | 1,732 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2024年1月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2025年1月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |

3. 2025年1月期の連結業績予想(2024年2月1日~2025年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|---|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 3,979 | — | 138 | — | 139 | — | 92 | — | 17.34 |
| 通期 | 8,570 | — | 431 | — | 435 | — | 315 | — | 59.41 |

(注) 当連結会計年度は、決算期の変更により、2023年4月1日から2024年1月31日までの10ヶ月間となります。このため対前期増減率並びに対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P11「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年1月期 | 5,384,070株 | 2023年3月期 | 5,384,070株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年1月期 | 70,629株 | 2023年3月期 | 70,629株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2024年1月期 | 5,313,441株 | 2023年3月期 | 5,313,692株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年1月期の個別業績（2023年4月1日～2024年1月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|------|------|---|------|-------|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年1月期 | 5,807 | — | 164 | — | 176 | — | 130 | — |
| 2023年3月期 | 5,866 | 16.0 | 63 | — | 35 | △91.5 | △12 | — |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年1月期 | 24.56 | 24.55 |
| 2023年3月期 | △2.29 | — |

(注) 当連結会計年度は、決算期の変更により、2023年4月1日から2024年1月31日までの10ヶ月間となります。このため対前期増減率については記載していません。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|-------|--|-------|--|--------|--|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 2024年1月期 | 3,643 | | 2,502 | | 68.7 | | 471.03 | |
| 2023年3月期 | 3,171 | | 2,372 | | 74.8 | | 446.47 | |

(参考) 自己資本 2024年1月期 2,502百万円 2023年3月期 2,372百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (会計上の見積りの変更) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (1株当たり情報) | 11 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、2023年6月29日に開催された第50期定時株主総会で「定款一部変更の件」を決議し、決算期を3月31日から1月31日に変更しました。これに伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度は、2023年4月1日から2024年1月31日までの10ヶ月間となります。なお、当社及び子会社は2023年4月1日から1月31日までの10ヶ月間となったため、前年同期との比較分析は行っていません。

当連結会計年度における当社グループの取組みといたしましては、新型コロナウイルス禍において経費削減を行う中で、生産性向上を進めてまいりました。目指す姿としては、店舗人員を少なくしながらも、お客様から「サービスが良くなったね」と言って頂くことでした。しかし、そのためのトレーニングが追いついておらず、店舗のQSC(商品品質・接客サービス・清潔さ)についてのクレームを多く頂くようになっており、これが来店客数の戻りが悪い原因の1つではないかと考え、クレームの改善と、サラダバーの充実に注力してまいりました。課題を見つけ、それに対し取り組んできた結果、まだまだ十分とは言えませんが、お客様のアンケートのコメント等にて少しずつご満足いただけているものと感じております。サラダバーの品目数や温かいメニュー「ホットバー」を提供する店舗を増やした結果、お客様をびっくりさせるというゴールにはまだまだ届いておりませんが、こちらも少しずつですが、ご満足いただけている方が増えてきているものと感じております。

商品の施策としては、年末年始のフェアとして“熊本のあか牛のサーロインとリブロースステーキ”の販売を行いました。また、お客様より全店での提供がなくなり再開希望の声のありました“テンダーロインステーキ”の提供を全店舗で行いました。お客様からは非常に好評の声をいただき、良い年末年始をお過ごしいただける料理・空間を提供できたのではないかと感じております。第52期においてはステーキだけでなく、第51期に取り組んでいたイセエビやホタテメニューのように、海鮮メニューを名物にすべく商品開発を行ってまいります。

店舗施策としまして、2023年11月10日に3期ぶりとなります出店を岐阜県関市に行いました。岐阜県関市には25年ぶりの出店となります。オープンから予想を超えるお客様にご来店いただき、全62店舗中、1カ月の売上高が2位という結果でした。2024年2月には愛知県春日井市に出店を行い、こちらは過去10年間に当店出店した店舗の初日売上高を超える新記録となり、春日井市近郊のお客様が待っていただいていたものと思われ、良いスタートになったと感じています。第52期においては、中部地区を中心に関西地区、関東地区への出店を行ってまいります。また、建坪100坪以上の大型のロードサイド店舗だけでなく、中規模店舗での出店、また、より当社グループを利用していただき易くするための低価格な業態の開発も行い、全国へ「あさくま」を届けてまいります。

採用と教育については、今後の課題になる人材採用をクリアすべく、積極的な外国人の採用と教育を行ってまいりました。まず初めに、2023年10月にベトナム人のインターン生を10名受け入れました。来日したインターン生はすぐに店舗へ配置するのではなく、2週間の集合研修を行い、日本での生活についての基本事項から、店舗における基本的な用語を覚えること、お済みの食器類の引き揚げ(バッシング)や、来店されたお客様のご案内、サラダバーの仕込みなどの基本業務まで、現場において即戦力となるよう、出来るようになるまで繰り返しトレーニングを行いました。その結果、店舗において、即戦力として活躍し、2か月足らずで、一通りの店舗業務が出来る者も出てまいりました。今後も目標を決め継続してトレーニングを行っていくことで、早期に店長を任せることの出来る人材に育つものと考えております。今後も外国人採用と教育を積極的に行い、今のインターン生10名だけではなく、第52期中にさらに20名の特定技能外国人材を受入れ、店舗責任者としての教育と抜擢を行ってまいります。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度における業績は、売上高が6,101,188千円、営業利益は174,633千円、経常利益は184,941千円、親会社株主に帰属する当期純利益は130,487千円となりました。

なお、当連結会計年度における店舗展開につきましては、直営店で新規に1店舗増加したため、当連結会計年度末現在における当社の店舗数は、直営店が62店舗にF C店4店舗を加えて66店舗となっております。また、株式会社あさくまサクセッションの直営店は1店舗減少し9店舗となり、当社グループの総店舗数は、75店舗(F C店4店舗を含む)となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は3,746,320千円となり、前連結会計年度末に比べて439,295千円増加しました。その内容は、以下のとおりであります。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は2,481,947千円となり、前連結会計年度末に比べて292,047千円増加しました。主な要因は現金及び預金で317,397千円増加したことに対して、未収入金で73,072千円減少したことによります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は1,264,372千円となり、前連結会計年度末に比べて147,247千円増加しました。主な要因は有形固定資産で103,777千円、繰延税金資産で53,579千円それぞれ増加したことによります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は1,043,489千円となり、前連結会計年度末に比べて301,696千円増加しました。主な要因は買掛金で112,683千円、未払金で67,261千円、未払法人税等で59,069千円、株主優待引当金で12,425千円それぞれ増加したことによります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は200,052千円となり、前連結会計年度末に比べて7,110千円増加しました。主な要因は、資産除去債務で19,270千円増加したことに対して、長期借入金で12,160千円減少したことによります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計の残高は2,502,778千円となり、前連結会計年度末に比べて130,487千円増加しました。主な要因は、利益剰余金が130,487千円増加したことによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末より13.3%増加し3,746,320千円、負債は前連結会計年度末より33.0%増加し1,243,541千円、純資産は前連結会計年度末より5.5%増加し2,502,778千円となり、自己資本比率は66.8%（前連結会計期間末は71.7%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較し317,397千円増加し、2,050,240千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度307,156千円の収入に対し、518,055千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益143,951千円、減価償却費69,016千円、仕入債務の増加額112,683千円、法人税等の還付額65,491千円を計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度140,870千円の支出に対し、190,401千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出177,282千円、差入保証金の差入による支出13,292千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度430,537千円の支出に対し、10,256千円の支出となりました。これは、長期借入金の返済による支出10,256千円を計上したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限が緩和されたことに伴い、社会経済活動の正常化が進んでおりますが、個人消費は度重なる食料品等の値上げにより持ち直しているとは言えないなか、地政学的リスクや円安傾向等による輸入物品やエネルギー価格、人手不足による人件費の高騰等のあらゆるコスト上昇が経営環境を圧迫しており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは、持続的成長のために、①Q S Cや生産性向上のための人材教育と仕組みづくり、②商品施策・サラダバーの充実と衛生管理の向上、③新規出店や既存店舗のブラッシュアップに、引き続き取り組んでまいります。

これらにより、当社グループの2025年1月期の連結業績予想といたしましては、売上高8,570,441千円、営業利益431,647千円、経常利益435,398千円、親会社株主に帰属する当期純利益315,646千円を見込んでおります。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、当連結会計年度は、決算期変更により、2023年4月1日から2024年1月31日までの10ヶ月間となっておりますので、2025年1月期の見通しにおける前年同期比については記載を省略しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年1月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,732,842 | 2,050,240 |
| 売掛金 | 259,979 | 283,324 |
| 原材料及び貯蔵品 | 43,392 | 64,916 |
| 未収入金 | 117,290 | 44,218 |
| その他 | 36,395 | 39,248 |
| 流動資産合計 | 2,189,900 | 2,481,947 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 380,094 | 429,037 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 26,550 | 18,275 |
| 土地 | 87,806 | 87,806 |
| 建設仮勘定 | — | 44,071 |
| その他（純額） | 49,434 | 68,471 |
| 有形固定資産合計 | 543,885 | 647,662 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 30,505 | 22,355 |
| 無形固定資産合計 | 30,505 | 22,355 |
| 投資その他の資産 | | |
| 破産更生債権等 | 812,892 | 812,892 |
| 差入保証金 | 464,971 | 467,147 |
| 繰延税金資産 | 36,080 | 89,660 |
| その他 | 41,681 | 37,546 |
| 貸倒引当金 | △812,892 | △812,892 |
| 投資その他の資産合計 | 542,733 | 594,353 |
| 固定資産合計 | 1,117,124 | 1,264,372 |
| 資産合計 | 3,307,025 | 3,746,320 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年1月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 376,817 | 489,501 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 12,688 | 14,592 |
| 未払金 | 103,540 | 170,802 |
| 未払法人税等 | 15,158 | 74,227 |
| 賞与引当金 | 15,961 | 18,639 |
| 株主優待引当金 | 19,303 | 31,728 |
| 資産除去債務 | — | 11,000 |
| その他 | 198,322 | 232,997 |
| 流動負債合計 | 741,792 | 1,043,489 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 92,512 | 80,352 |
| 資産除去債務 | 78,230 | 97,500 |
| その他 | 22,200 | 22,200 |
| 固定負債合計 | 192,942 | 200,052 |
| 負債合計 | 934,734 | 1,243,541 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 91,531 | 91,531 |
| 資本剰余金 | 1,711,770 | 1,711,770 |
| 利益剰余金 | 675,417 | 805,905 |
| 自己株式 | △106,429 | △106,429 |
| 株主資本合計 | 2,372,290 | 2,502,778 |
| 純資産合計 | 2,372,290 | 2,502,778 |
| 負債純資産合計 | 3,307,025 | 3,746,320 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年1月31日) |
|---|--|--|
| 売上高 | 6,202,461 | 6,101,188 |
| 売上原価 | 2,523,403 | 2,566,098 |
| 売上総利益 | 3,679,057 | 3,535,090 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,607,481 | 3,360,456 |
| 営業利益 | 71,575 | 174,633 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 19 | 13 |
| 協賛金収入 | 2,018 | 2,638 |
| 受取保険金 | 2,327 | 4,780 |
| 不動産賃貸料 | 3,206 | 2,671 |
| 助成金収入 | 2,579 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,700 | — |
| その他 | 4,302 | 2,557 |
| 営業外収益合計 | 16,154 | 12,662 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,689 | 1,201 |
| 助成金減額損 | 37,942 | — |
| その他 | 1,375 | 1,152 |
| 営業外費用合計 | 42,007 | 2,354 |
| 経常利益 | 45,722 | 184,941 |
| 特別利益 | | |
| 圧縮未決算特別勘定戻入額 | 13,499 | — |
| 特別利益合計 | 13,499 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 41,841 | 30,466 |
| 店舗閉鎖損失 | 9,900 | — |
| 固定資産除却損 | 1,800 | 5,887 |
| その他 | 1,000 | — |
| 特別損失合計 | 54,541 | 36,354 |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,680 | 148,587 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 29,565 | 71,678 |
| 法人税等還付税額 | △11,630 | — |
| 法人税等調整額 | △1,079 | △53,579 |
| 法人税等合計 | 16,855 | 18,099 |
| 当期純利益 | △12,175 | 130,487 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△) | △12,175 | 130,487 |

連結包括利益計算書

| | (単位：千円) | |
|-----------------|--|--|
| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年1月31日) |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △12,175 | 130,487 |
| 包括利益 | △12,175 | 130,487 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △12,175 | 130,487 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | 純資産合計 |
|-----------------|--------|-----------|---------|----------|-----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | |
| 当期首残高 | 90,124 | 1,710,362 | 687,592 | △75,706 | 2,412,372 | 2,412,372 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 | 1,407 | 1,407 | | | 2,815 | 2,815 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | △12,175 | | △12,175 | △12,175 |
| 自己株式の取得 | | | | △30,722 | △30,722 | △30,722 |
| 当期変動額合計 | 1,407 | 1,407 | △12,175 | △30,722 | △40,082 | △40,082 |
| 当期末残高 | 91,531 | 1,711,770 | 675,417 | △106,429 | 2,372,290 | 2,372,290 |

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年1月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | 純資産合計 |
|-----------------|--------|-----------|---------|----------|-----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | |
| 当期首残高 | 91,531 | 1,711,770 | 675,417 | △106,429 | 2,372,290 | 2,372,290 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | — | — |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 130,487 | | 130,487 | 130,487 |
| 自己株式の取得 | | | | | — | — |
| 当期変動額合計 | — | — | 130,487 | — | 130,487 | 130,487 |
| 当期末残高 | 91,531 | 1,711,770 | 805,905 | △106,429 | 2,502,778 | 2,502,778 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年1月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,680 | 148,587 |
| 減価償却費 | 81,497 | 64,380 |
| 減損損失 | 41,841 | 30,466 |
| 店舗閉鎖損失 | 9,900 | — |
| 助成金減額損 | 37,942 | — |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △5,000 | — |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 3,075 | 2,678 |
| 株主優待引当金の増減額 (△は減少) | 1,499 | 12,425 |
| 圧縮未決算特別勘定戻入額 | △13,499 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △19 | △13 |
| 支払利息 | 2,689 | △1,201 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △1,043 | △23,345 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △16,591 | △21,523 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 90,672 | 112,683 |
| 助成金収入 | △2,579 | — |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 50,435 | 19,782 |
| その他 | 27,061 | 105,957 |
| 小計 | 312,563 | 450,878 |
| 利息及び配当金の受取額 | 19 | 13 |
| 利息の支払額 | △2,528 | 1,671 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △233,846 | 65,491 |
| 助成金の受取額 | 230,948 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 307,156 | 518,055 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △148,112 | △177,282 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,507 | — |
| 差入保証金の差入による支出 | △58 | △13,292 |
| 差入保証金の回収による収入 | 10,207 | 173 |
| 預り保証金の返還による支出 | △1,500 | — |
| 資産除去債務の履行による支出 | △9,900 | — |
| 長期未収入金の回収による収入 | 10,000 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △140,870 | △190,401 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △250,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △152,630 | △10,256 |
| 株式の発行による収入 | 2,815 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △30,722 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △430,537 | △10,256 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △264,250 | 317,397 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,997,093 | 1,732,842 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,732,842 | 2,050,240 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

1. 繰延税金資産の回収可能性の見積りの変更

当連結会計年度において、当連結会計年度の業績並びに新型コロナウイルス感染症による当社の業績に対する影響が低下した現状を踏まえ、企業会計基準適用指針第26号「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に示された分類の見直しを行いました。

当該見積りの変更により、当連結会計年度の評価性引当額及び法人税等調整額が50,008千円減少し、当期純利益が同額増加しております。

2. 株主優待引当金の見積りの変更

当社は、親会社の発行する株主優待券について、当社グループで使用された同株主優待券の券面額の一部を交換手数料として負担しておりますが、金額的重要性等を考慮して、株主優待引当金を計上しておりませんでした。当連結会計年度において、親会社により発行された枚数に対する当社での使用見込みについて一定の仮定を設定し、期末日現在未使用と推定される同株主優待券が当社で使用された場合に発生する交換手数料に対する引当金を新たに見積もる事が出来るようになりました。

当該新規見積りの変更により、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益が11,291千円減少しております。

3. 資産除去債務の見積りの変更

当社の店舗については、普通借地権及び定期借地権等の不動産賃貸借契約により、事業終了時または退去時における原状回復費用等に係る債務を有しておりますが、普通借地権賃貸借契約については、従来当該債務に関する賃借資産の使用期間が明確でなく、移転等も予定していない資産について合理的に資産除去債務を見積もることが出来ないため、資産除去債務を計上しておりませんでした。当連結会計年度において普通借地権賃貸借契約にかかる退去の時期及び発生金額を精査した結果、原状回復費用及び使用見込期間に関して、一定の仮定を設定し新たに見積もる事が出来るようになりました。また、定期借地権賃貸借契約については、契約期間満了後の更新等を踏まえ、使用期間が明確でないことから割引計算をしておりますでしたが、当該一定の仮定により資産除去債務を割引き計算する方法に変更しております。

これらの変更は、使用見込期間及び原状回復費用を合理的に見積り、資産除去債務の計上範囲を見直したものであり、これにより、資産除去債務は、24,914千円増加しております。

なお、追加計上した資産除去債務対象資産のうち、一部の資産について減損損失処理を行っているため、税引前当期純利益が5,082千円減少しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年1月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 446.47 円 | 471.03 円 |
| 1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) | △2.29 円 | 24.56 円 |
| 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | — 円 | 24.55 円 |

(注) 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。